

鋼管杭が擁壁の常識を変えた。

自立型鋼管柱列式RC擁壁

YOSAKU 工法

実用新案登録 第3113018号

基礎地盤のエキスパート

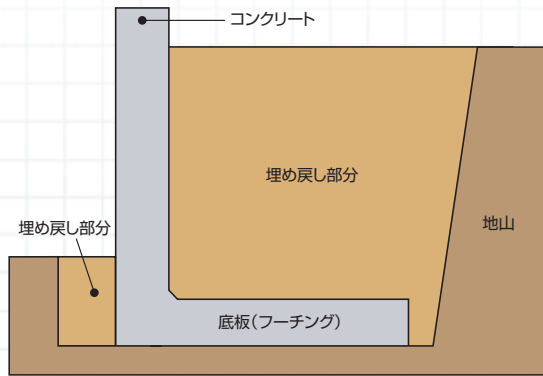
株式会社 東 部

わかりやすい従来工法との違い

YOSAKUIは、従来型の基礎ベースを必要としない工法です。

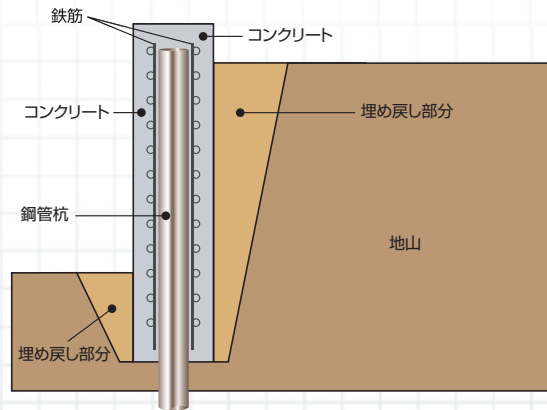
Differences

【一般的な工法】

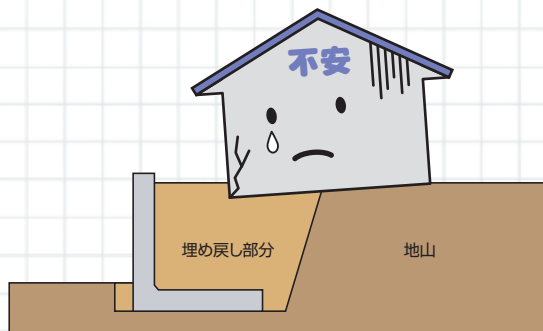


掘削領域が大きいため、埋め戻し(埋土)部分が大きくなる

【YOSAKUI工法】



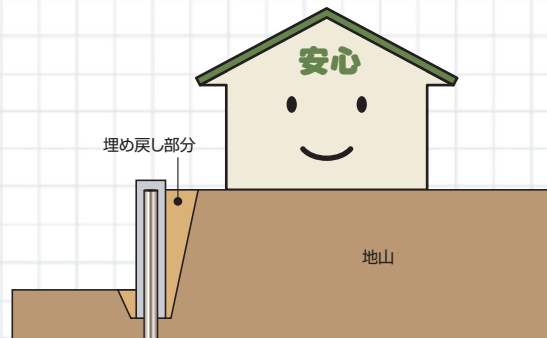
掘削領域が小さいため、固い地山をほとんど崩さず施工可能



固い地山といった崩された埋め戻し部分(埋土)の位置に計画された建物は、不均一な地耐力不足が原因で不同沈下事故を起こす要因と懸念されます。

結果

地盤改良工事・杭基礎工事が必要となります。



埋め戻し(埋土)範囲が小さいため、固い地山に配置された建物は、地耐力、バランスともに十分な安定と安心を確保します。

結果

地盤補強工事が不要になります。

※ただし、地山の土質・性質・硬軟など、その他の条件により補強工事が必要となるケースも想定されるため、物件単位での検討が必要となりますのでご了承ください。

工法の概要

工法の流れを簡単に解説します。

Overview



① 鋼管杭を横方向・柱列的に打設貫入していきます。



② 基礎部分(壁面最下部)を構築し、壁面部分の鉄筋を配筋します。



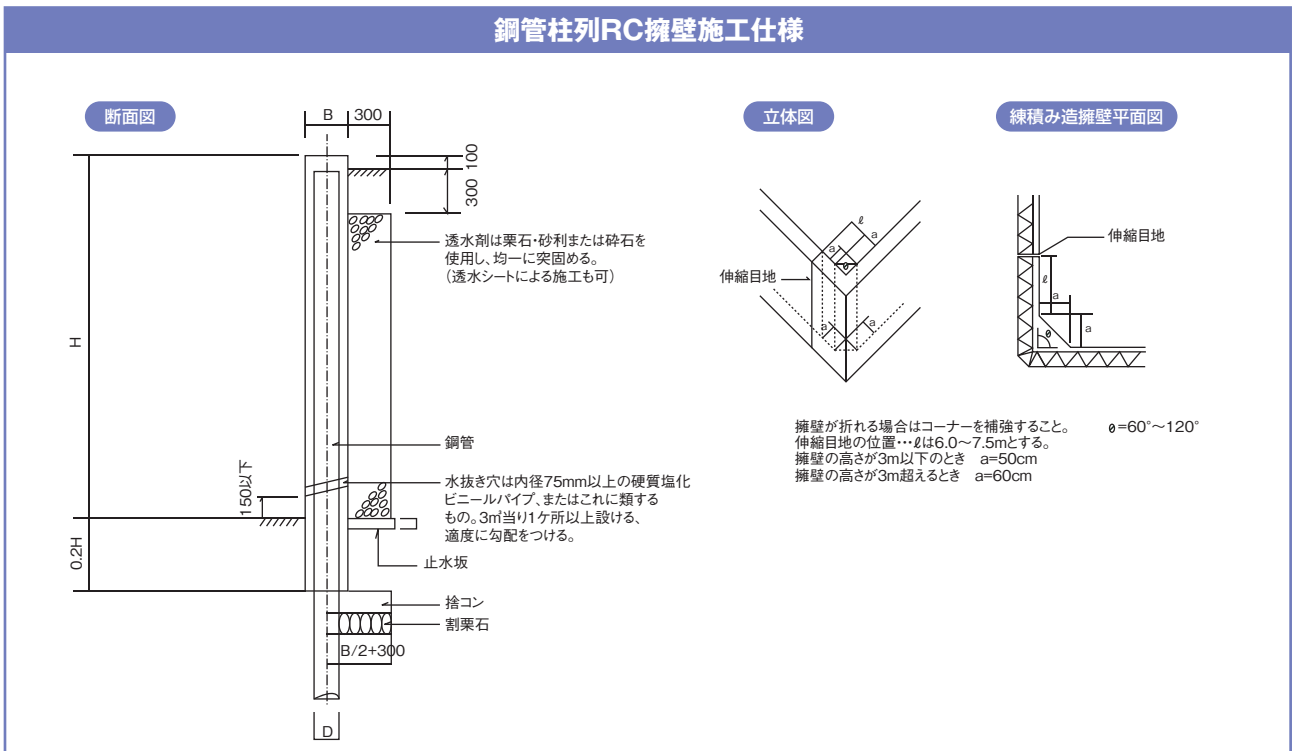
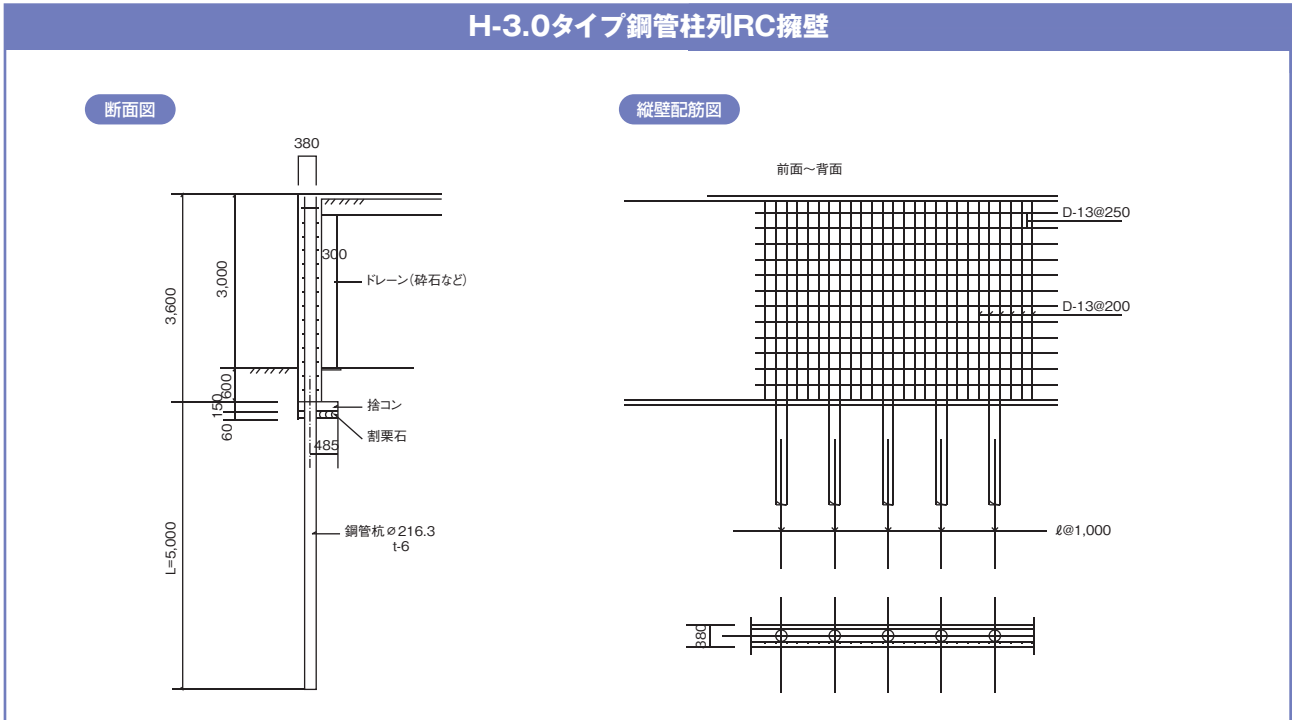
③ 型枠をし、コンクリートを充填します。



④ 所定養生期間を経て型枠を外したら完成です。

仕様一例

Specifications



※本工法は規模・地域・その他の条件により、行政の許可が必要となるため、必ず事前にご相談ください。

基礎地盤のエキスパート
株式会社 東 部

代理店

本社 / 〒229-1134 神奈川県相模原市下九沢1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971
<http://www.tobu21.co.jp> E-mail:info@tobu21.co.jp